



2020年5月15日

各 位

会社名 フリー株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 佐々木 大輔
(コード番号：4478、東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 東後 澄人
(TEL. 03-6630-3231)

2020年6月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月15日の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2019年12月17日に公表した2020年6月期（2019年7月1日～2020年6月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年6月期通期業績予想数値の修正（2019年7月1日～2020年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,941	百万円 △2,876	百万円 △3,127	百万円 △3,135	円 銭 △76.10
今回修正予想 (B)	6,700	△2,876	△3,127	△3,135	△69.81
増減額 (B-A)	-241	0	0	0	
増減率 (%)	-3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
(ご参考) 前期実績 (2019年6月期)	4,516	△2,830	△2,850	△2,778	△68.27

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を受けて、主に下記の事象を通じて、特に3月以降の新規顧客獲得に影響が生じていることにより、2020年6月期の連結売上高を下方修正いたします。

確定申告の申告期限の延長

2020年2月27日付で国税庁より、確定申告の申告期限が2020年3月16日から同年4月16日への延長

する旨が公表され、その後、4月6日付で4月17日以降であっても確定申告書を受け付ける方針である旨が公表されております。

「クラウド会計ソフトfreee」の個人事業主プランは、確定申告ソフトとして、特に確定申告時期に多くの個人事業主様にご利用を開始頂いております。当該確定申告の申告期限延長により、一部の個人事業主様の新規会員の登録時期が、当初見込んでいた3月ではなく、4月以降に移行したため、売上見通しが当初想定よりも下回る見込みとなりました。

セールス活動への影響

Smallセグメント（従業員数20名未満の小規模法人を対象）においては従来通りオンライン商談によりセールス活動を継続しているものの、通常は訪問営業を実施しているMidセグメント（従業員数20名以上の中規模法人を対象）においてオンライン商談へ移行したことや、各セグメントにおける顧客側の事情により、一部新規顧客の獲得において、当初の想定を下回る見込みとなりました。

マーケティング活動への影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクの高まりに伴い、2020年2月25日以降の弊社主催のイベントについて、中止、延期、またはオンラインで開催しております。オンラインでの開催によりマーケティング機会の創出は可能であるものの、一部イベントの自粛に伴い、当初見込んでいたスポンサー収入及びマーケティング機会の創出が、当初の想定を下回る見込みとなりました。

以上の結果、2020年6月期の連結売上高は6,700百万円（前回公表値より241百万円減）を見込んでいます。

一方で、一時的に、有料課金ユーザー企業数の新規獲得ペースが低下していることを踏まえて、セールス&マーケティング費用を適切にコントロールすることにより、同期間における営業利益以下の利益項目は変更しておりません。

短期的には上記の影響を想定しておりますが、当社の売上高の90%超はサブスクリプション契約から構成されており、全社業績としては比較的安定性が高い構造にあります。ただし、今後の業績への影響については引き続き注視し、必要に応じて適切な対策を講じてまいります。

当社の提供する統合型クラウドERPソフトウェアは、場所やデバイスを選ばずに業務を遂行できるため、スモールビジネスの多様な働き方を支援する特徴を有しております。今後も、クラウドサービス業界を牽引する企業としてベストを尽くし、クラウドならではの利便性を提供することで、「スモールビジネスを、世界の主役に。」という当社のミッションを追求してまいります。

以上